

Caring Design Learning Lab

超高齢社会のくらしのデザインと知識を総合的に学ぶ場



CARING
DESIGN
LEARNING LAB

Caring Design EXPERT

2026

講座・検定のご案内

Caring Design Learning Lab

超高齢社会のくらしのデザインと知識を総合的に学ぶ場づくり

Caring Design EXPERT 2026 募集スタート！

[Caring Design EXPERT](#)

[お申し込みはこちら](#)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>



Caring Design Learning Lab 開発背景

新しい生き方を模索する人びと

「100年人生」の時代といわれる超高齢社会が到来しています。

2025年の日本の総人口に占める65歳以上の人口は29.4%。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると

2040年には34.8%、2050年には37.1%になると見込まれています。^{※1}

また、シニア期はもはや余生ではなく

次に来る新しい生き方を

模索する時間だと考える人が増えています。

※1 総務省統計局の人口推計データ（2025年9月14日）より

ますます自己実現欲求が高まっていく

「100年人生」の時代には

新しい価値観のシニアが台頭してきます。

自分らしく人生を全うしたいと考えるシニアが増え

住まいやくらしにおいても自己実現欲求が高まると予測されます。

しかし、その住まいやくらしについての考え方やフィロソフィーが

日本で語られることは稀です。

住まいやくらしを提供する側である

自治体、企業、建築家、デザイナーなどが

シニアの意識の変化を学ぶ機会を見出していないのです。

100年人生の時代に求められるのは 一人ひとりにとっての 心地よい良質な住まい・暮らしです

一般社団法人ケアリングデザインは
50代以降の大人の暮らしの自己実現を考える
「Good Over 50's」※2
ケアが必要な時間・空間をデザインでサポートする
「Design for Care」をテーマとし
生活者の視点で住まいと暮らしのデザインを考えてきました。

いつまでも慣れ親しんだ我が家で過ごしたい
という想いは万人共通のものです。

100年人生の時代
健やかに心地よい良質な住まい・暮らしは
今後ますます求められていきます。

私たちは、超高齢社会の住まいと暮らしを
デザインと知識によってサポートしていきたいと考えます。

※2 Good Over 50's は一般社団法人ケアリングデザインの登録商標です

Caring Design Learning Labとは？

Caring Design Learning Lab（CDLL）は 超高齢社会のくらしのデザインと知識を 総合的に学ぶための場です

一般社団法人ケアリングデザインは
蓄積した知見と専門家ネットワークをベースに
超高齢社会のくらしのデザインと知識を
総合的に学ぶための場としてCDLLを設立しました。

生涯を通じて学び続けることができます

CDLLでは、さまざまな学びや活動の輪が有機的につながり
互いに影響を与えながら成長していきたいと考えます。
国内外のさまざまな活動とも積極的に関わっていきます。



[Caring Design EXPERT](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

[お申し込みはこちら](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>



プロフェッショナル向けリスキリング Caring Design EXPERT (CDE) コース

Caring Design EXPERTコースでは、Over 50's のシニアを取り巻く社会状況、心身と五感の変化、ヘルス&ケア環境などについて総合的な知識を身につけ、デザイン手法を学びます。

講座・検定修了者には、Caring Design EXPERTの認定バッジが授与されます。

Over 50'sの暮らしをデザインする専門家として、総合的なスキルアップを目指す方に。

Caring Design EXPERTコース：オンライン全22講座＋ワークショップ＋検定

定員：30名

基礎から学び始めたい方向け

Caring Design Basic (CDB) A / B コース

Caring Design EXPERTコースのオンライン講座より、必修3講座と選択講座を受講できるコースです。ご自身の関心領域の知識をアップデートしたい方に。

Caring Design Basic Aコース：12講座（必修講座＋選択9講座）

Caring Design Basic Bコース：6講座（必修講座＋選択3講座）

定員：各コース50名

[Caring Design EXPERT](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

[お申し込みはこちら](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>



Caring Design EXPERT カリキュラム

各分野の専門家による全22のオンライン講座をご用意しました。

*はCaring Design Basicコースの必修講座です *各講座は、1時間前後の視聴時間となります

超高齢社会の暮らし 心身の変化

00* イン트로ダクション 一般社団法人ケアリングデザイン



講座内容

本講座を始めるにあたって、Caring Design Learning Labの概要およびCaring Design EXPERT カリキュラムについて、その目的と内容を説明する。

01* 超高齢社会における「ケアリングデザイン」



東北工業大学建築学部建築学科教授
副学長兼建築学部長

石井 敏

講師プロフィール

建築計画で特に介護が必要な高齢者の施設、居住・生活環境に関する研究に取り組む。現在は、日本医療福祉建築協会理事、公共施設等の各種設計プロポーザル審査委員長などを務める。

講座内容

日本の超高齢社会の状況、その中でのケアリングデザインが対象とすべき領域について理解する。さらに「環境」を意識し、整えることの重要性和、物理的な環境要素が果たす役割について。最後に北欧におけるケアリングデザインの実際を通して、ケアリングデザインが目指す社会や暮らしの姿を共有し、以降の講座につなげる。

02* データで見る「100年人生自立をかなえる住まいと暮らし」 <NEW>



インテリアデザイナー
一般社団法人ケアリングデザイン
代表理事

小野由記子

講師プロフィール

乃村工藝社、ロンドンアーキテツアトリエを経て小野意匠計画設立。住宅から商業スペース、ヘルス&ケア空間まで。独自のテーマ、コンセプトを設定することから導くデザインを行う。

講座内容

ケアリングデザインが2024年度に実施した、70才以上の1,000人に聞いた調査結果を紹介。「心身の自立」と「住まい・暮らし方」、この2つにはどのような相互関係があるのか。心身共に自立した「自立シニア像」と「住まいの在り方」について、調査データを元に解き明かしていく。

03 年齢に伴う心身の変化と環境



医学博士
認知症専門医
長谷川嘉哉

講師プロフィール

医療法人ブレイングループ理事長。開業以来50,000件以上の訪問診療、500人以上の在宅看取りを实践。在宅生活を医療・介護・福祉で支えるサービスを展開している。著書『ボケ日和』他多数。

講座内容

世界保健機構（WHO）では、65～74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者と定義する。そこには高齢者の多様性、格差問題が存在する。認知症専門医の立場から見えてくる介護状態、家族や家屋の問題点を解説。自宅で生活を継続するために知っておきたい「介護力」「お金」「住宅」の課題への対策と理解を深める。

04* 五感の変化とデザインアプローチ



一級建築士
ケアリングデザイナー・アーキテクト
吉田紗栄子

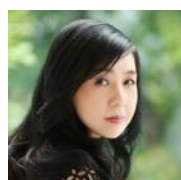
講師プロフィール

1964年東京パラリンピックに日本赤十字語学奉仕団の一員として参加。高齢や障害があることも大切な個性と考え、身体障害者・高齢者と建築との関わりをテーマに、住宅、福祉施設などを設計。

講座内容

私たちは、無意識のうちに五感を使って暮らしている。加齢による五感の変化は、40代後半位からゆるやかに進み、誰にでも起こる変化として顕在化していく。しかしその変化を知り、補うことで、暮らしを継続することができる。この講座では、五感の変化とそれに対応するデザインソリューションについて解説する。

05 視覚のデザイン / 住まいのカラー&マテリアル基礎 <NEW>



カラーコンサルタント
インテリアコーディネーター
若生洋子

講師プロフィール

総合デザイン研究所/DESIGN & DECOR代表。暮らしの中で、色が人の感情や行動に影響していることに惹かれ心理学を学び、環境心理学の視点からの色彩心理を研究。

講座内容

色の三属性や色の仕組みといった色彩の基本をはじめ、心理的効果、コントラストやセパレーションなどの配色、視認性など、空間における色の役割について説明する。加齢によって色の見え方が変化することもあるため、シニアを含めた幅広い世代に配慮した住まいの環境を考える上での基本を紹介する。

06 視覚のデザイン / 感じる色・日本の色



染織家
染司よしおか6代目当主
吉岡更紗

講師プロフィール

生家である「染司よしおか」で、自然界に存在する植物などで、染め、織りを中心に制作を行う。古社寺の行事に関わり、国宝の復元なども手掛ける。空間プロジェクトへの参加も多い。

講座内容

古来、日本の暮らしを彩ってきた日本の色の起源と、天然素材から染められ、世界が憧憬してやまないその色の感動を豊富な画像と共に解説。自然由来の色と素材を知ることは住まいをデザインする上での基本知識。いにしえの色の発掘、再現に努めた吉岡幸雄氏の想いも伝える。

07 視覚のデザイン / 光がつくる、心地よい環境



照明プランナー
ヘルスケア照明デザイン研究所
代表
手塚昌宏

講師プロフィール

LDヤマギワ研究所、TLヤマギワ研究所、ヤマギワ(株)PDC室長、(株)YAMAGIWA 医療福祉施設担当部長などを経て独立。ヘルスケア施設の照明計画を数多く手掛ける。講演・論文多数。

講座内容

加齢により光刺激への重要性は高くなる。光の特性や生理心理的影響を知り、心地よい光環境をデザインし、健康で元気な生活を過ごすことが重要だ。光がつくる心地よい環境と、健康的な照明計画について、光の重要性、加齢による視覚の変化とその対応、照明計画のプロセス、ホームウェルネス照明の基礎について解説する。

08 聴覚のデザイン / 聴覚の変化と音環境



サウンドスケープデザイナー
国土交通省 交通バリアフリー
基準等検討会委員
武者圭

講師プロフィール

視覚障害者としてサウンドスケープを研究し、街中の音環境への提案、公共施設の誘導サイン音のデザインを行う。幅広い観点のバリアフリーやユニバーサルデザインの提案や助言・講演・執筆など。

講座内容

音の環境を整えることは、豊かな暮らしの実現に大切なことだが、日本では音環境への関心が低い。本講座では「音とは何か」「耳の役割」を実際の音を聞きながら学ぶ。加齢により耳の機能が低下した時の聞こえ方の体験、よりよい音環境を実現する方法として、遮音、吸音の具体的方法を提示し耳に優しい生活の提案を行う。

09 嗅覚のデザイン / 香りの効果



AEAJ 認定アロマセラピー
・プロフェッショナル
生活の木 ゼネラルマネージャー
佐々木 薫

講師プロフィール

ハーブ・アロマセラピーの研究に携わり、ハーブ製品・ショップ・ハーブガーデンの企画・開発を担当。アロマセラピー、ハーブに関わるカルチャースクール、セミナー、講演会の講師として活動。

講座内容

私たちは日々、多くの香りに囲まれて暮らしている。エイジングと香りとの関係、香りの心身への影響、そのメカニズムを知ることで、日々の生活の質をもっとあげることができる。植物の香りを住まいや空間に役立てるアロマセラピーや活用法を学び、活用事例などにも触れ、植物の力、自然との共生、SDGsへと視野を広げる。

10 触角のデザイン / 布づくりは感触づくり



テキスタイルデザイナー
東京造形大学名誉教授
須藤玲子

講師プロフィール

作品は国内外で高い評価を得ており、MOMA、メトロポリタン美術館等22の美術館に永久保存されている。代表作にマンダリンオリエンタル東京のテキスタイル他。後進の指導・育成を熱心に行う。

講座内容

須藤玲子が率いる「NUNO」は、設立以来、日本での生産にこだわり、無駄を出さない、天然繊維へのこだわり、先端技術の活用などをテーマとした布づくりを行っている。本講座では、テキスタイルの肌理や素材を通して、触覚を意識したものづくりや、環境や人への配慮の必要性について考える。

11 味覚のデザイン / 調理と食事の空間史



コンサルタント・暮らしの研究家
株式会社貞雄代表
土谷貞雄

講師プロフィール

ムジネット（現MUJI HOUSE）にて住宅の商品開発や暮らしの調査を長く行う。2013～18年「HOUSE VISION」を原研哉氏と開催。著書に「無印良品とみんなで考える住まいのかたち。」がある。

講座内容

食を生み出すキッチン、食事を摂るダイニングは、暮らしの中心として重要な場所である。時を遡りキッチンの原型とその変容を知ることで調理+食事空間のあるべき姿の認識を深める。また住宅の提案型間取りを通して、超高齢社会にふさわしい柔軟なキッチン・ダイニングの可能性を考察する。

12 アートとホスピタリティ



インテリアデザイナー
一般社団法人ケアリングデザイン
代表理事

小野由記子

講師プロフィール

乃村工藝社、ロンドンアーキテクツアトリエを経て小野意匠計画設立。住宅から商業スペース、ヘルス&ケア空間まで。独自のテーマ、コンセプトを設定することから導くデザインを行う。

講座内容

ホスピタリティとは、思いやり、おもてなし、人を喜ばせようとする心。アートを通じたホスピタリティは、病院ばかりでなくケア、教育仕事の他、すべてのくらしの場に求められる。人を癒しはげまし、つながりを生み出すアートの働きとその使い方について、北欧と日本の事例やリサーチ、インタビューを通して考える。

住まい・インテリア・家具・道具

13 住み続けられる住まいの設計



一級建築士
ケアリングデザインアーキテクト
吉田紗栄子

講師プロフィール

1964年東京パラリンピックに日本赤十字語学奉仕団の一員として参加。高齢や障害があることも大切な個性と考え、身体障害者・高齢者と建築との関わりをテーマに、住宅、福祉施設などを設計。

講座内容

スクラップアンドビルドの時代から、リノベーションして永く住み続ける持続可能な住まいづくりへと、時代は変化してきている。本講座では、長年シニアや障害のある方たちの住まいを設計してきた経験から、「人生100年」住み続けるための条件とは何か、具体例を紹介しながら解説する。

14 運動機能の変化とデザイン



一級建築士
福祉住環境コーディネーター
田畑邦雄

講師プロフィール

一級建築士事務所アシスト設計。高齢者、障害者の福祉施設を手がける。住宅のみならず、公共図書館、店舗など、地域の建物のバリアフリー化やバリアフリーの住まいづくりへの啓発活動も行う。

講座内容

加齢とともに病気やけがのリスクは高まり、大切にしてきた「我が家」が、いつの間にか住み続けられなくなってしまうことが少なくない。この講座では、いずれ訪れる高齢期にも、快適な暮らしを続けられる住まいを計画するための「運動機能の変化とデザイン」について、豊富なデータを元に考える。

15 健康と住まいの温熱環境・設備



一級建築士
ケアリングデザインアーキテクト
代表
直町常容子

講師プロフィール

清水建設株式会社設計部を経て独立。個人住宅、2~3世帯住宅の設計、リノベーションを行う。顧客のニーズを丁寧に読み取り、80・90歳代が自立した生活を続ける住まい設計を多く手がける。

講座内容

シニア期を安心して健康に過ごすためにも、温熱環境を整えることは大切である。快適性を向上させるための設備・断熱の選択は重要なポイント。本講座では、温熱環境・設備について、数値や事例を紹介しながらひも解く。断熱、換気、空調などの性能の見直し・把握、それらの導入方法などを、実例をもとに紹介する。

16 「微気候」の庭づくり



環境デザイナー
ガーデンデザイナー
正木覚

講師プロフィール

エービーデザイン代表。初代JAG 会長。個人の庭や集合住宅をはじめ住宅開発、商業空間などの他、環境共生住宅やまちづくりプロジェクトにも積極的に取り組む。NHK『趣味の園芸』他出演。

講座内容

土地や建物、庭の向き、植物の配置によって、住宅にわずかな気候の変化をもたらす「微気候」は、自然の空調機能として働く。自宅でもある環境共生型集合住宅の庭づくりを行った「檜ハウス」の事例を紐解きながら、人と植物が永くよい関係を続けていくための健康で美しい庭づくり、「微気候」のデザインについて解説する。

17 睡眠のデザイン / シニア世代の睡眠改善



睡眠改善インストラクター
株式会社イワタ代表
岩田有史

講師プロフィール

睡眠環境、睡眠習慣のコンサルティング、眠りに関する教育研修、睡眠関連商品の開発、睡眠環境アドバイザーの育成等を行う。著書に『なぜ一流の人はみな「眠り」にこだわるのか?』他多数。

講座内容

昼夜のメリハリ、適度な運動など、1日24時間の視点で生活習慣を見直すことが、シニア世代の睡眠改善に繋がる。また、睡眠環境の影響を受けやすいため、寝室や寝具に対する配慮が必要となる。本講座では、加齢による睡眠の変化を捉え、生活習慣と睡眠環境からシニア世代の睡眠健康の維持向上を図る方法を探る。

18 福祉用具と暮らしのコーディネート



主任介護支援専門員
社会福祉士
小島操

講師プロフィール

都内の独立型居宅介護支援事業所で主任介護支援専門員として従事。地域のケアマネジャー勉強会や地域資源のネットワーク作りを実施。著書に『王様は自分-在宅生活をめぐる50の物語』など。

講座内容

介護保険利用の要である介護支援専門員（ケアマネジャー）による、環境を整えて自分らしく生きるための講義。障害を持って高齢者となっても、生活の中で自分でできることを一つでも増やし、自分らしい楽しみをもって暮らすことを提案する。同時に高齢者のための介護保険制度や地域の相談窓口についても紹介する。

19 道具からユーザーの体験をデザインする



プロダクトデザイナー
株式会社GK ダイナミックス
三富貴峰

講師プロフィール

「身体につける道具によって体験をデザインする」ことをテーマとし、医療装具、スポーツプロダクトなど、モノと人との関係とそこから生まれる体験のデザインを実践。

講座内容

プロダクトデザインは道具のカタチを考え、使う人が「良い体験」をすることが目的である。ケアデザインでは、困っている課題の解決が重要だが、使う人が良い体験をするのが目的で、その結果幸せになることが理想だ。モノによって、課題を解決するだけでなく、体験をどのようにデザインしていくのか。事例をもとに考える。

20 エイジングテック / テクノロジーと高齢者の暮らし <NEW>



MTヘルスケアデザイン研究所
代表取締役
千葉大学附属大学病院患者支援部
特任准教授
阿久津靖子

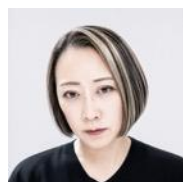
講師プロフィール

株式会社MTヘルスケアデザイン研究所 所長。
東京科学大学 非常勤講師、一般社団法人日本
次世代型先進高齢社会研究機構代表理事、経済
産業省イノベーションハブアドバイザー。ロ
ボット介護機器を始めとするAgingTech分野の
第一人者。

講座内容

住み慣れた自宅や地域で自立しながら安全・快適に暮らし続けられるよう、医療・介護・住環境・社会的支援を統合的に提供する「Aging in Place」、少子高齢化社会のwellbeingの海外の状況を紹介。自宅で自立して暮らすためのAgingTechサービスやプロダクツの現状を解説する。

21 人を招く住まいの実例 / 国内&北欧編 <NEW>



エディター&ライター
一般社団法人ケアリングデザイン
西川公子

講師プロフィール

ムック本やウェブメディアで、シニアの暮らし
や住まいの取材を行う。また、これまでに約
400件以上のマンション管理組合やキーマンに、
コミュニティおよび防災に関する取材を実施し
てきた。

講座内容

ケアリングデザインが2024年度に調査した「70才以上の1,000人に聞いた、住まいと暮らし方」から、自立シニアの75%は、自宅に人を招く暮らしを実現していることがわかった。そこで実際に、国内12件・北欧5件の「人を招く住まいの実例」を紹介。暮らしぶりやインテリアの写真を多く紹介する。

22 心と身体とよい関係を保つ住まい



一級建築士
アルテック代表
阿部勤

講師プロフィール

早稲田大学理工学部建築学科卒業後、坂倉準三
建築研究所勤務。1984年アルテック設立、現
在に至る。賀川豊彦記念松沢資料館、中心のあ
る家（自邸）などの6作品で建築家協会25年賞
受賞。

講座内容

住まいを設計する人、つくる人、住む人が、いかにその家に深く関わるか、思い入れをかけた時間の分だけ、ものに価値が生まれる。そんな大切に永く住み続けられる住まい、人の心身とのよい関係を保つ住まい、心地よい場所のつくり方について、自邸「中心のある家」の事例を紹介しながら解説を行う。

* 講師及び講座内容は、変更する場合があります

Caring Design EXPERT

[お申し込みはこちら](#)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>



ワンデイ・ワークショップ&検定試験 [Caring Design EXPERTコースのみ実施]

ワンデイ・ワークショップ

日 時：2027年3月6日（土）9：00～17：00（予定）

場 所：公益財団法人日本デザイン振興会／インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1ミッドタウン・タワー 5階

内容

ワークショップでは、オンラインでの学びを実施に生かすためのシミュレーションとして、リノベーションプランニングをグループで行う。ワークショップは、参加者同士および講師との交流を持つことも、目的のひとつである。

ワンデイワークショップ テーマ例

「〇〇家のリノベーション」

提示された〇〇家の（現状に関する）図面とヒアリング資料から、建物の状況や家族の意向を読み解き、リノベーションプランを作成する。

※ワークショップ詳細は、後日発表予定

※ワークショップは、設計・デザイン実務未経験者も参加可能な内容とする

検定試験

日 時：2027年3月7日（日）～8日（月）実施予定

受講方法：オンラインによる受験

※ワークショップ翌日、オンラインで実施予定

※上記期間中の任意のタイミングで受験可能（所要時間：1時間ほど）

※検定試験の結果は後日通知、同時に認定証とバッジを送付

※合格者はCaring Design EXPERT (CDE) コミュニティメンバーに登録

[Caring Design EXPERT](#)

[お申し込みはこちら](#)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>



Caring Design EXPERT 受講の流れ

Caring Design EXPERT コース

- Caring Design EXPERTコースでは、各分野の専門家による22オンライン講座を受講します。
- 期間中(6ヶ月)に全22講座を履修した受講者は、半年毎に開催される「ワンデイ・ワークショップ&検定試験」へと進みます。
※2027年2月中に全講座を1回以上視聴していることが、ワークショップ参加・検定受検の条件となります。
- 検定試験に合格した修了者には Caring Design EXPERT 認定証とバッジが授与されます（3年毎に認定を更新するためには、別途講座を受講する必要があります）。
- Caring Design EXPERT 認定者は、CDE コミュニティメンバーに登録されます。
- CDEコミュニティは、メンバー限定のコミュニティです。オンラインやリアルな場での情報交換、メンバー同士や講師との交流が行われます。
- CDEコミュニティメンバーは、オンラインセミナーや国内外で随時開催される講演会、建築・インテリアの見学会、関連イベントなどにメンバー資格で参加できます。

Caring Design Basic A/Bコース

- Caring Design Basic A/Bコースでは、各分野の専門家による22のオンライン講座より、必修3講座、選択講座を受講します。選択講座はAコースでは9講座、Bコースでは3講座です。
- 受講後は修了証が発行されます。Caring Design Basic A/Bコースでは、ワンデイ・ワークショップ、検定、Caring Design EXPERT 認定はありません。
- Caring Design Basic コース修了後、Caring Design EXPERTコースに受講希望の場合、受講費は差額となります。

Caring Design EXPERT はこんな方に向いています

● 仕事や社会活動において、50代以降の顧客 / マーケットへ向けた提案の質を向上させたい方

- ・ 建築士
- ・ デザイナー (インテリア、プロダクト、ライティング、ビジュアル、他)
- ・ インテリアコーディネーター、 インテリアプランナー
- ・ リフォーム・リノベーションプランナー
- ・ 住・空間関連分野、生活商材分野、 媒体制作分野、 広告制作分野
- ・ 医療・看護・福祉分野
- ・ 美容、ヘルス&ケア分野
- ・ 教育、研究分野
- ・ 自治体・活動団体
- ・ 上記分野で将来活躍されたい学生の方

● 自身や家族、地域生活の環境改善のために学びたい方

[Caring Design EXPERT](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

[お申し込みはこちら](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>



一般社団法人ケアリングデザイン



CARING
DESIGN
ASSOCIATION

ケアリングデザインとは、デザイン性「美しさ、感動」、機能性「使い勝手」がとれない、使い手の幸福に貢献する道具、家具、空間や、その心地よい調和を考えるものです。超高齢社会に、50代以降の大人世代の暮らしを豊かにすること、医療、看護、ヘルス & ケア空間の質をよりよくすることを目指し、デザイン、建築、医療、看護、福祉、ことばの専門家の有志が集い、2013年に一般社団法人ケアリングデザインは発足しました。2019年には、ケアリングデザイン一級建築士事務所を設立。その間グッドデザイン賞を2回受賞するなど、活発な活動を行っています。

事業内容

- ・ラーニング・セミナー企画運営
- ・視察、調査、交流
- ・プロジェクト企画、コンサルティング
- ・デザイン企画・監修
- ・建築・インテリア設計
- ・執筆、出版
- ・デザイン展主催・企画・運営
- ・池袋西武百貨店
「くらしのデザインサロン」企画・運営
- ・「SEIBU くらしのデザイン展」
主催・企画・運営 (2011年～2022年開催)

受賞歴

2014年度グッドデザイン賞 受賞

ケアの時と場をサポートする取組み [ケアリングデザイン]

2020年度グッドデザイン賞 受賞

マンション・公園 [デュオセーヌ国立]



Good Over 50's[®]

Caring Design EXPERT

受講のお申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人ケアリングデザイン CDLL 事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 6-1-32 #110

E-MAIL : cdll@caring-design.or.jp

[Caring Design EXPERT](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

[お申し込みはこちら](https://www.cdll.caring-design.or.jp)

<https://www.cdll.caring-design.or.jp>





CARING
DESIGN
LEARNING LAB

Caring Design Learning Lab 講座・検定 2026

— プロフェッショナル向けリスキング —

Caring Design EXPERT コースのご案内

- オンライン講座** 2026年10月1日（木）～2027年3月31日（水） ※期間中いつでも何度でも受講可能
- ワンデイ・ワークショップ** 2027年3月6日（土）9：00～17：00実施予定
場所：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（東京都港区）
※2027年2月中に全講座を1回以上視聴していることが、ワークショップ参加・検定受検の条件となります
- 検定** 2027年3月7日（日）～8日（月）実施予定
※ワークショップ翌日、オンラインで実施します
※期間中の任意のタイミングで受検できます（所要時間：約1時間）
- お申し込み受付期間** 2026年5月1日（金）～9月30日（水）
- 受講費** Caring Design EXPERT コース 全22講座＋ワークショップ＋検定
177,000円（税込価格194,700円）
ケアリングデザイン会員・学生価格：157,000円（税込価格172,700円）

※定員30名
※受講費には講座受講費・ワークショップ参加費、検定料が含まれています
※各講座にPDFテキストが添付されていますが、印刷版の有償頒布もあります
※キャンセルポリシー：開講7日前までのお申し出で全額返金いたします
- 詳細・お申し込み** CDLL ホームページからお申し込み
<https://www.cdll.caring-design.or.jp/>
- お支払い方法** クレジットカード・銀行口座振込
- お問い合わせ** 一般社団法人ケアリングデザイン CDLL事務局
EMAIL cdll@caring-design.or.jp





CARING
DESIGN
LEARNING LAB

Caring Design Learning Lab 講座 2026

— 基本から学び始めたい方向け —

Caring Design Basicコースのご案内

オンライン講座 2026年10月1日（木）～2027年 3月31日（水） ※期間中いつでも何度でも受講可能

お申し込み受付期間 2026年5月1日（金）～9月30日（水）

受講費 Caring Design Basic Aコース 12講座（必修3講座＋選択9講座）
96,000円（税込価格105,600円）

Caring Design Basic Bコース 6講座（必修3講座＋選択3講座）
54,000円（税込価格59,400円）

※各コース定員50名

※各講座にPDFテキストが添付されていますが、印刷版の有償頒布もあります

※選択講座の決定は、お申し込み後に別途ご案内いたします

※Caring Design Basic コース修了後、Caring Design EXPERTコースに受講希望の場合、受講費は差額となります

※キャンセルポリシー：開講7日前までのお申し出で全額返金いたします

詳細・お申し込み

CDLL ホームページからお申し込み

<https://www.cdll.caring-design.or.jp/>



お支払い方法

クレジットカード・銀行口座振込

お問い合わせ

一般社団法人ケアリングデザイン CDLL事務局

EMAIL cdll@caring-design.or.jp